

市政だより

おおむら

青	少	年
健	全	育
特	別	号



伸びろ子供たち
心豊かにたくましく

みんなの手で 郷土を担う 青少年を育てよう



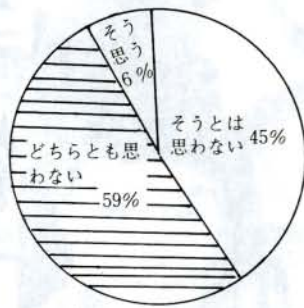
いまの子供たちは、物に恵まれた社会に育ち、飢えを知らない世代といわれています。
しかし、その一方で、現代社会が作り出した教育・しつけでのさまざまな「マイナスマ」が目立ってきています。教育に対する過熱、心の荒廃、非行の増大など、現代は青少年の人間形成にとって好ましくない状況が多いといえます。
いくら物に恵まれ、社会が豊かになつたとしても、それがそのまま心の豊

かさにはつながらない。このことをもう一度確認し、新しい時代にふさわしい教育のあり方を見極め、実践していくことが大切です。
このような子供の健全な成長を目指して、市内には13小学校区と1中学校区(菅瀬中)の計14の青少年健全育成協議会(健全協)があります。
今回は、この健全協にスポットをあてて、特集してみました。
(本文中、敬称は略します)

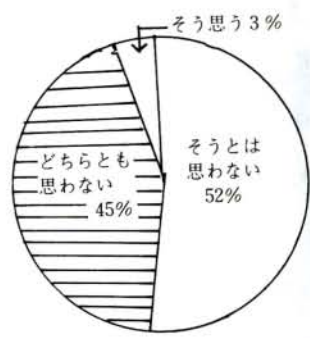
大人から見た 子供たち

市民100人に「最近の子供たちをどう感じますか」と、尋ねてみました。

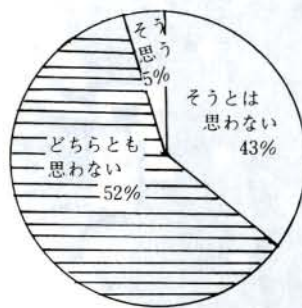
公共物を大事にする



責任感がある



進んでやることとする 意欲がある



では、このような問題に、家庭・学校・地域では、どのように取り組んでいるのでしょうか。
家庭では
親は子の鏡
放虎原小学校区青少年健全育成協議会 川 添 広
昔から、三つ子の魂百まで、と言われていました。
人間の一生は、幼児期の環境に支配され、中でも家庭での「しつけ」による点が多いのではないのでしょうか。
現在は、子供を少し生んで大事に育てる、欲しがる物は何でも買ってやり、つい過保護になり大切な「しつけ」がなされなく、子供に最も大切な耐える心を教えていないため、成長するにつれ子供の要求が多くなり、要求が満たされないと非行に走りやすくなるのです。子供の持ち物に気をくばり万引きに気づいたら、すぐに親子一緒に店へ行き万引きした事をわび、代金を支払う親子で再び万引きしない事を「誓い」合う事が大切です。一度、万引きで味をしめるとエスカレートしていくのです。非行は、初めのうちに摘みとるべきです。
「親は、子の鏡」であることを忘れないで欲しいのです。

我が家の日課

松原小学校区青少年健全育成協議会 大浦 千津子

健康であってほしい。勉強ができてほしい。これは親の欲張りな願いです。これにこたえようと子供も一生懸命頑張っています。計算づくしのこの世の中で、低年齢の非行が多く聞かれます。寂しい事だと思います。わが家では、ふとしたきっかけから子供たちに念仏をあげさせています。一日の終りに15分位ですけど、家族の心が一つになる時間です。「信仰のある家庭

学校では

中学校での

生徒指導への取り組み

今、中学校で重要な機能を果たしているものに生徒指導があります。

生徒の人格のよりよい発達をめざすとともに学校生活が生徒一人ひとりにとっても、学級集団にとっても充実したものになるよう指導援助することです。

具体的には、

- ①生徒との信頼関係をしっかりとつくる
- ②あいさつや礼節など生活態度を確立させる
- ③止し

地域では

西大村小学校区青少年健全育成協議会

青少年の非行化が、日々深刻化する中で、子供たちをいかに教え導いていくかということは、私たちの大きな課題であり、ここに、西小健全協が活動していくことになり、その責任も重大です。

健全育成部では、合同キャンプ・ミニニ親子運動会・サッカー大会と地区の連携を図り、非行事故防止部では、少年ソフトボ

い生徒理解につとめる ④自治的な生徒の活動を高めていく

⑤家庭や地域と協力しあう

などが主なことですが、非行の発生や進行がないように、また、その具体的な対応も人間尊重の精神にみちた教育として心情面と行動面から指導していく教育活動を精力的に実践しています。

地域・家庭・学校三者一体となって、社会生活が正しくできる人間を育てるといふ気持が、日常生活の小さな行動から「許せないことはゆずれない」「非行と学力の取り組みは車の両輪」ということで善導していかなければならないと思います。



ール大会・少女バレーボール大会・地区懇談会・巡回補導などにより、子供の自主性を伸ばし、社会環境部では、公園の清掃・空かん回収などの環境浄化に努め、体育振興部では、親子のつながりを中心としたバドミントン・体力づくりハイキングなど家族の健康づくりに、みんなが前向きに取り組んでいます。目的の地ばかり教えないで、彼ら自身が必然的に自分の目的を見つけている場として、子ども会があり健全協がここにあるのです。

旭が丘小学校区青少年健全育成協議会

私たちの健全協は旭が丘小学校開校とほぼ時を同じくして発足しました。

古くからの農村地域の中に新しい宅地が開かれ、急速に人口増となったところです。

そういった環境の中で、「地域ぐるみ」の青少年健全育成をかかげて諸団体の代表などを構成

員(会員)としてスタートし、現在は、研修部・非行事故防止部・健全育成部・広報部の専門部があり、特徴といえば町内会とともに健全協の支的役割を果たす「地区会」を設けたことです。この地区会長は原則として町内会長になっていただき、「町内ぐるみ」で青少年問題や育成に対応してもらうことが主眼です。この足場を強くすることがこれからの課題と思います。

大村小学校区青少年健全育成協議会非行防止部

「いい子に育てよう」をテーマに、各町内で、現在、子供を育てられている家庭を対象とし、各子ども会に呼びかけを依頼して、映写懇談会を実施しています。この中で「親に反抗して困る」「子供が仲間と遊べない」「いじめの対象になっている」「こづかいの与え方」など、親としての悩みが各会で出され、これらの問題を出席者全員で解決へむけて協議したわけですが、出席者にとっては大変意義ある会であったとの感触を得ました。

しかし、残念なことには、出席者が少なく、こういう会への意識や関心の薄さをいかにすべきかが今後の課題ではないかと思えます。

青少年健全育成協議会 (健全協)とは…



熱心な討議が展開された研究大会 (3月10日)

市内には、多くの青少年関係団体(子ども会・青年団体・PTA・婦人会・町内会・民生委員会など)があり、それぞれの立場で活動をし、効果をあげています。

①

健全協は、地域住民活動の中心に位置し、それぞれの団体活動の活性化を促進するとともに、

市内には、多くの青少年関係団体(子ども会・青年団体・PTA・婦人会・町内会・民生委員会など)があり、それぞれの立場で活動をし、効果をあげています。

密接な連携のもと「家庭の健全化」「非行事故防止」「社会環境浄化」などを計画的・継続的に日常実践活動として展開しています。

現在、市内には14の健全協があります。健全育成を目指すため、連合した組織として大村市青少年健全育成連絡協議会があります。

青少年健全育成活動 三つの柱

①家庭教育の充実

地区住民センターとのタイア

アップした活動、町内公民館の利用、PTAなどの年間目標に「家庭教育の充実」を位置づける

②青少年団体活動の活性化

子ども会活動、中学生・高校生部会の設置、青年団活動と有職無職少年の組織化

③地域住民による常時活動の徹底

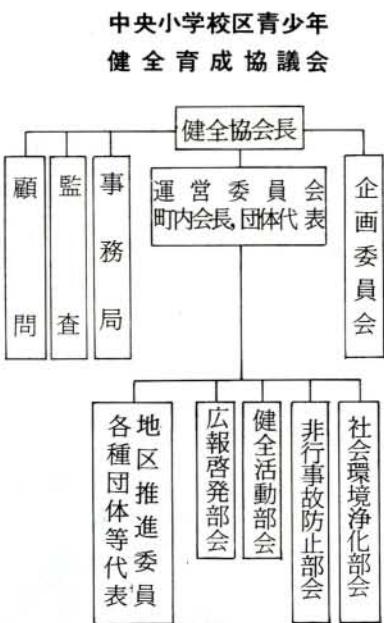
環境浄化運動、家庭の日運動、愛の心で他人の子もしかる運動

昭和57・58年度に県の研究指定を受けた

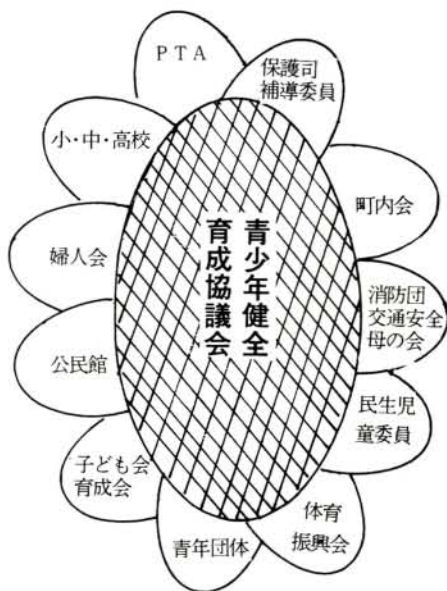
中央小学校区 青少年健全育成協議会

中央小学校区青少年健全育成協議会は、ほかの地区と同じように、地道な活動を続けています。

県の研究指定地区としての活動も、市内の全部の健全育成協議会の協力によって、無事に終了することができました。



(図1)



また、自慢できる点は、すべての活動の中心として町内会長が活動しているということでしょう。16町内のすべての会長が、文書の配布、連絡、会合のまとめ役として活動しています。

また、子ども会、育成会長が活動の母体として協力体制をとっています。中学生や高校生の参加についても、それぞれの部会が活動しているので、スム

ーズに進みます。
会の運営は、一世帯あたり年間120円の会費と補助金10万円を各部に分けて活動しています。

年間の主な活動

- 6月・総会
 - ・高校生等保護者の会
- 7月・地区別懇談会
 - ・夜間ハイク
- 8月・ラジオ体操コンクール
 - ・リレー大会
 - ・高校生レク大会
 - ・広報紙の発行
- 9月・作文コンクール
- 11月・講演会
 - ・バドミントン大会(中学生部会)

- 1月・マラソン、駅伝大会
 - 2月・広報紙の発行
 - 3月・立志式
 - ・などがあります。
- この中から、今回は「夜間ハイク」と「立志式」を紹介します。



やったぞ25km 夜間ハイク

(昭和59年7月21日)

195人の参加者と25人のお田さんたちのべんとう作り、そして多くの皆さんの援助と協力によって、実現した夜間ハイクでした。

時分	時間	場所	内容
0km	0:10	川棚駅発	* 車を降りると外は雨。ビシヨぬれになりながら出発式。帰るには車もなく、不安広がる。
↓			
4km	0:55	音 琴	* こここで雨やむ。横断して旧道を進む。ペース早く、全体が快調に進む
↓			
8.4km	1:50	東彼杵町 体育館	* 普通なら考えられない真夜中。東彼杵町のご好意で全員がゆつくり休めた。ただもうありがたいこと……。
↓ (20分の休息)			
12.5km	3:10	千綿駅前	* この間また雨が降りはじめ、1時間やむことなし。やつと雨がやみ、またにぎやかなおしゃべりである。
↓			
19.0km	4:20	野岳入口	* ここまでやつと来たという自信と、やや疲れの残っている顔が並ぶ。まだ夜空は暗い。かすかに山の端が見える。
↓			
23.0km	5:25	原口交差点	* 国道を直進するが、なかなかゴールが近くならない。もうスツカリ明るくなり、新聞・牛乳・パンの配達をする人の動きが見られ、ホツとする。
↓			
25.0km	6:00	中地区住 民センタ ー	* 最後のグループがゴールする。やったという喜びと、もうクタクタという感じで疲労感でいっぱいだ。
	6:40	閉会式	



立志式



昔の元服にあたるものを、現在各地で、立春式とか立志式と

いう言葉で実施しています。満14歳の春に、青年期に入る子供たちを、地域の大人が激励し、責任を自覚させるための儀式です。

県内外では多くの地区で実施されていますが、大村市では初の行事という事です。

内容としては、激励のことば、生徒代表の立志のことばの後、決意を書いた紙をつけて風船を飛ばします。厳粛で非常に意義のある内容で、市内各地に広がって欲しいと思います。



夜間ハイクに参加して

隅 幸子(小5)

いつもは車で通る所だけど、25kmといってもよくわからなかった。でも、歩いてみると、とてもきつかった。昔の人の苦労がよくわかりました。雨の中を歩いたけど、途中、東彼杵町の体育館で休めたことがとても嬉しかった。そして、ゴールしたときの気持ちは最高でした。また、歩いてみたいと思います。

健全育成活動の実際

それでは、各地区の健全協がどう取り組んでいるか活動の一部を、紹介します。

子供たちの健やかな成長を目指して

三浦小学校区青少年健全育成協議会

三浦小学校区健全協も発足後4年を過ぎようとしています。発足当初の活動は全面的に子ども会育成会依存で、経費の支出をする程度でした。

ここ2年程前から健全協の目的を達成するにはこれではいかと反省がなされ、昨年度から子ども会育成会の協力を得て健全協としての活動に位置づけようとしているのが実態です。特に当健全協はスポーツ活動を通して子供たちの健やかな成長を目指していますが、この計画は子ども会育成会で立案し、健全協会員と子ども会育成会会員が集り協議し、大会の運営に当たっては子供たちだけでできるだけ多くの係を任せ、子ども会と育成会および健全協の三者が一体となつての活動です。

発足以後、各子ども会対抗で夏休みに男子はソフトボール、

女子はバレーボールの大会を開催し、特にソフトボールの小学生の部には母親も2、3人出場し賑やかに展開しています。

冬休みはマラソンと駅伝大会を実施しています。子供たちが各係で喜んで活動し、全員参加を目標とするマラソンには90%以上の出場率であり、また駅伝には各地区から父母のチームも参加し、子供たちと一緒に汗を流しており、今後尚一層、地域住民が一体となって青少年の健全育成を図っていききたいと思

目標を「1」にして

西大村小学校区青少年健全育成協議会

夏休みを前にして例年開かれていた西大村中校区地区懇談会を、本年は、西小学校区健全協の非行防止部合同で開催していききました。16地区32人が一体となって準備しました。老人会、婦人会、町内会とのつながりの深い地区は、熱心で出席率も大変よかったです。

活発な発言がどの地区からも出されました。「けじめ、分別の

わかる子に育てたい。なつてほしい」と、親が子を見つめる考えは同じです。

最も感動を受けたことは、子育てを卒業された皆さんが、地区のために参加していただいたことです。

健全協の中の奉仕活動、これこそ人間関係の輪を作り築き上げていけば、自然に何事も解決の道は開けてくるものと思

ました。不慣れで大変でしたが、スムーズに運ばれたことは、目標が一つで、必死にやったことです。今後も子供たちが自主性のある社会人に育つよう地区ぐるみで活動が繰り広げられるようにと希望します。



にぎわう 夏休み 子ども水泳大会

東大村小学校区青少年健全育成協議会

毎年、夏休み後半の日曜日、子ども会水泳大会を実施しています。59年は、8月19日に台風の前ぶれの中で開催されました。企画、運営、当日の役員などには健全協会長初め、運営委員、子ども会育成会長が主にあたり、ほかに小学校の先生たちの協力もあり、スムーズにいつてい

ます。9時30分開会、11時には終了しますが、人数が少ないため一

明るい広報紙づくり に努力する

大村小学校区青少年健全育成協議会広報活動部

広報活動部は、できる限り、皆さんに知っていただくために、広報紙を年3回発行することにしました。

校区内には、大村公園内の玖島城跡の昔のままの美しい見ごとな石垣、さらに、武家屋敷跡が多く、上小路、岩舟、小姓小路などには、今も石垣が残っています。この強くていつまでもく

人で何回も忙しく出場していません。

小学生60人、中学生32人のうち、小学生はほぼ全員、中学生は約6割の参加です。

校区内の親と子どもは殆んどが顔見知りであるため、応援放送入りまじつての大盛況でした。本校区は児童生徒数が少ないため、夏季休業中のプール利用は小中学生共同です。このことが水泳大会開催の要因となっております。



垣のようにスクラムを組んで、子供たちを育てよう願って、「いしがき」と名づけました。

内容も体裁もできるだけ親しみがあり、実のある広報紙にするように努め、健全育成に関する明るい記事を掲載するよう努力しています。1月31日には第9号の発行を終え、すっかり皆さんになじみの「いしがき」になった様です。しかし、年3回の発行は、予算の面で困難な点もありますが、これも校区内の理解ある皆さんのご協力(広生掲載)により発行を継続しています。

地区映写会。 懇談会に参加して

旭が丘小学校区青少年 健全育成協議会

校区健全協が発足してから4年間、毎年、9、10月の秋の夜を利用して公民館をめぐる映写会懇談会を継続して実施しています。

内容は「子育て」や「家庭教育」などをテーマとした映画を一時間程上映し、その後、懇談をもつ形で進めてきました。

この会を続けてきて、その意義がつけられてきたようにも思われます。

核家族化してきた家庭の若い父親、母親たちと、子育ての経

町内家族運動会 を成功させる

三城小学校区育青少年 健全育成協議会

「21世紀を担う青少年の健全育成は、私たち大人の責任と義務である」という共通理解をもつて各団体間の連絡調整を図りながら、活動や事業の推進をしています。が、本年度の主な活動内容は、総務部では地区内訪問懇談会や、地区住民の心のふれあい、社会づくりとして町内家族大運動会を計画し成功させるこ

験者であるおじいちゃん、おばあちゃんたちにも気軽に寄っていただいで交流していることです。

子供たちも映画を見に参加しているの、まさしく親・子孫の三世代が集まったかつこです。健全協のこの催しが、地域を一つの「大家族」と見たて、その場を提供したといえるのではないのでしょうか。「地域連帯」「地域ぐるみ」のささやかな実践ですが、大切にしていただきたいものです。



とができました。非行防止部では、校内巡回補導、火災予防運動への参加、危険箇所の点検対策。健全育成部では、校区ソフトボールおよびインディアアカ大会を計画実施してきました。まだまだ努力不足で、主旨内容を校区住民のみならず、深めさせ得ない面もあるかと思いますが、学校と家庭と地域のあらゆる団体が連帯感を深め協力し合つて更に、青少年の健全育成につとめたいと思います。

健全協活動に参加しての

感想あれこれ



最後に、6人の皆さんに健全協の活動に参加しての感想を書いていただきました。(学年は、感想を書いたときの学年です)

竹松小学校区育青少年 健全育成協議会

福田朋 広(小6)

去る12月、ぼくたちの子ども会で廃品回収をした。雨が少し降っていたので、とても心配だった。ところが、子ども会長から電話があり、雨なのでぼくの家を集めてもらえないかということだった。

予定の30分前で、急なことだったし、別の場所ですることになっていたので、姉とあわてて近所に手分けして知らせた。あときは走りまわったので、さすがにくたびれた。でも、そのおかげでなんとか時間通りに始めることができ、ほんとによかったと思う。

廃品回収には、雨が降ったわりに、多くの人が持ってきてくれた。おかげで、びんなどがたくさん集まった。こうして集まったものは、お金にかえ、子ども会でも必要な資金として使うのだ。ぼくは、びん、紙などを再利用することに大賛成だ。そして、こうした廃品回収を定期的に実施し、再利用するだけでなく、もつと資源や物を節約することに気をくばり、ほんとうの豊かな生活がおくれるようにしてほしいと思うし、また、そうしなければならぬと思う。

鈴田小学校区育青少年 健全育成協議会

富永弘毅

「あいち」について 雑感

最近「あいさつ運動」や「オアシス運動」が行われるように

なって、子供も大人も心豊かな明るい町づくりが推進されています。

この「あいさつ」とは「会合の席で述べることば」でなく、「人に会う時にとりかわす儀礼的な動作やことば」のことで、人に会ったら挨拶をするのがあたりまえです。

ところが、実際は実行できていないと誰もが感じるようになってこの運動が行われるようになったのでしよう。

なぜ必要か、なぜ行われなくなってきたのかをお互いに考え直してみたいものです。お隣の家に行ったら「ごめんください」は言うのだから、住民センターの出入りにも職員に対して必ず挨拶をして欲しいものだと感じます。

昔は、道路で知っている人と会ったらどうしても何か言わずには通れない気持でした。それが今は車で通過するので、お隣のおじさんの顔も知らない、町内に来られたお嫁さんも知らない様に世の中が暖かさをなくしたのでしようか。せめて家庭で日常のあたりまえの「あいさつ」を習慣づけて、明るい家庭心豊かな町づくりのための運動に協力いたしましょう。

親子バレーボール大会

豊瀬中学校区青少年
健全育成協議会

永吉友子(中3)

8月26日、待ちに待った親子バレーボール大会。抽選の結果1回戦は、強敵「宮代」2回戦は、これもまた強敵「田下」とでした。

いよいよ試合開始、私たちと春風はこの2つのチームにストリートで勝ち、決勝戦へ向かいました。私もまあまあ好調でした。決勝戦の相手は毎年優勝の

「朝風」でした。どうしても、このチームをやぶり優勝したい。そう思うと試合の前から緊張がみで、うろろうしていました。

「朝風」は、大人の人が強いチームで、子供の私たちが大人の人に勝とうと思ったけれど、どうしても体が言うことをきかないのです。相手チームに点が入り、私の動きはにぶくなるし、1セット目は取られてしまいました。2セット目も私のミスがめだち、とうとう負けてしまいました。

試合終了後、整列して「ありがとうございました」と言う

と急に涙が出てきて、その場で泣いてしまいました。友だちが「よう、がんばったよ」と励ましてくれましたが、私は、自分のミスでこの試合に負けたと思いました。何かにおびえて、おもしろいプレーできなかった。自分自身を恥、反省しました。準優勝、少し心残りでしたが、楽しさそして悔しさの入りくんだ、よき思い出になる親子バレーボール大会でした。

世代交流活動

通しての感想

福重地区老人クラブ連合会

まず、寿古、沖田、今富の伝承芸能について各代表者よりの説明とビデオ視聴があり、その話し合いも熱心で盛会でした。

次に、竹トンボや水鉄砲、箱作りなどの手作業がありました。

ナイフやノコの使い方や金づちでの釘うちなど子供たちにぎこちないところがあり老人の加勢が必要でしたので各家庭では用具のつかい方を教えることが必要でしょう。しかし、ペンキ塗りは自分たちでできました。

三世交代のゲートボールも

行いました。ルールなどを説明し、練習試合を行いました。初めはうまくゲート通過やタッチ、スパークはできなかつたのですが、回を重ねるにつれ、笑いもできて楽しいゲームになりました。



これが印象的でした。

鬼火たき

竹松小学校区青少年
健全育成協議会

中村早苗

鬼橋子ども会では、56年から鬼火たきを正月行事としてとりあげています。戦後、古い行事が失われていたものを、父母の中から復活したらという声があがり、子ども会育成会で協議の結果、正式の行事としてとりあげ、今年で4回目になります。

正月7日、前もつてたき木や生竹、生木を用意し、広い農家の田を借りて組みたてます。

そこに早朝門松やしめ縄、書き初めの習字、餅などを手に手にみんなが集まってきました。

火がつけられ、しだいに炎が大きくなり、生竹のはじける音、残火で餅を焼き、食べると病気をしない。書き初めをかざすと高くとび上手になる。などいろいろ面白い伝えがあります。

燃え残った松の枝を鬼の骨といい、炊事場にかざり一年間の厄よけにします。

地区の人たちも、「初めて」「昔はこうだった」などいろいろな想いをはせたり、親子、老若語りあって、ふれあいを深め、ほんとうに意義あるものでした。いつまでも、続けていきたい

と願っています。

地区映写会

懇談会に参加して

旭が丘小学校区青少年
健全育成協議会

一田親

先日、公民館で地区映写会懇談会が開かれ、子育ての最中であり参加しました。映画は祖父を中心に親子のふれ合い、葛藤など、家族のつながりが描かれ涙するとともに深く考えさせられました。懇談会では非行の経験談、いじめの問題、家庭でのむづかしさなど少人数の中でも活発な意見が出され、特に、お年寄りの意見は何にも増してわが子にのみ走りがちな私の目をさましてくれました。

また、参加した皆さんの地域の子供たちに対する愛情の深さを感じ豊かな気持ちになりました。どの地区でも多くの人たちの参加が望めれば非行の芽もつみとれ、子供たちのつながりも深まるのだと思います。親子で参加したい様な意義のある会でした。

